

キャリア教育充実のためのプログラムの作成

2009年9月4日（金） 14：00-17：00



南大阪地域大学コンソーシアム
キャリア教育コーディネータ 黒木 淳



ワークショップの目的

キャリア教育プログラム作成を通して、プログラム作成にあたってのポイントをつかむ。

ワークショップの目標

- ①学校でできるキャリア教育プログラムを作成する。
- ②プログラム作成にあたってのポイントをつかむ。

目標から導き出したプログラム

＜プログラムの特徴＞

- およそ20時間のプログラム
- 学校とコーディネータ、学生、企業による授業設計
- 専門家（エキスパート）によるミッション
- 徹底的に考えて企画立案する
- 企画立案を通して思考の使い方を学ぶ
- 物事を良くするためには一度失敗することが大切であることを学ぶ

南コンソモデルのキャリア教育

PDCAサイクルに重点化した**思考リテラシー**を中心にした課題解決型プログラム

「人間が社会で生きる基礎的な力」を身につける学習

★「**思考**」を「**スキル**」として捉え、思考の作法が**習慣化**することをめざした教育プログラム

思考リテラシー＝PDCAサイクルを思考として構造化したもの

Plan- Do- Check- Action

企業課題

「見て」

「掘り下げて」

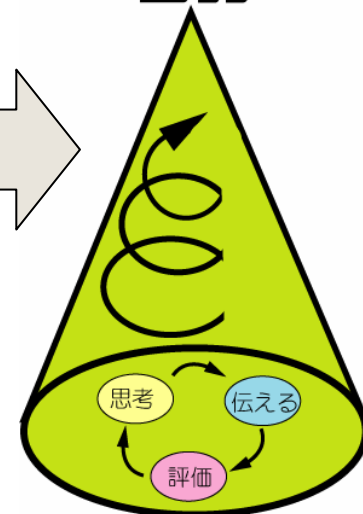
「解決して」

「提案して」

「行動する」

企画提案

目的



思考リテラシー

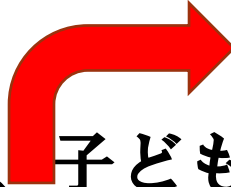
キャリア教育プログラム

<テーマ>

「考える筋道を立てる力」を育成するための、キャリア教育プログラム

<目的>

企画書作成を通した、子どもたちが将来社会に出ても役に立つ、実践力の育成



実社会の変化

<身に付けさせたい力>

- ・課題発見力
- ・課題解決力 等の実践力

多様なキャリアプログラム

課題解決型

企画提案

思考力、分析力、コミュニケーション力

インタビュー型

働くことの大切さ、視点、コミュニケーション力、マナー

体験学習型

キッズマート

販売体験、マナー、実体験、シミュレーション

PR型

新聞、広告、CM

分析力、良さを活かす、ターゲット、目的を明確、表現力

自己分析・自己実現型

夢、将来展望、職業観、自己の気づき

教科型

教科知識活用、視点の明確化、思考力、分析力、論拠

職場体験

働くことの大切さ、職業観、視点、マナー、実体験

外部講師型

本物、職業観、社会を知る

キャリア教育で大切なこと

①目的

キャリア教育を通して、子どもたちがどうなっ
て欲しいですか？

②

その

**しっかりと言語化する！
常に意識する！**

③身に付けさせた

キャリア教育プログラムを通して、つけたい力
はなんですか？

キャリア教育プログラムの提案！

- **本モノ**との出会いがある
社会的リアリティが持ち込まれている
- **社会的視点**が入っている
人のため、社会のため、地球のため
- 人の喜ぶ顔がイメージできる(**ターゲット**を明確化)
- 「**私ならこうする！**」一人称で語ることができるようになる
- **働くこと**がリアリティをもって受け止めることができるようになる
- 将来の**夢**を描けるようになる

その結果

気付き

自分の立ち位置

- まわりのもの、他者への**関心**をもつようになる
- **なぜか？**を常に考えるようになる
批判的思考力、論理的思考力
- 社会の課題に**気づき**、その解決策を考えるようになる
- 自分が社会の一員であること、自分と**社会とのつながりを意識**するようになる
- 自分の能力の**生かし方**を自ら考えるようになる
- **職業**について考えるようになる
- 働くことって何かを**自ら考える**ようになる
- 何のために学ぶのかを**自ら考える**ようになる

プログラムを“見る”ポイント

①目的

どんな目的意識を持っているか？

②目的の原因や背景

なぜその目的が必要なのか？

③プログラムで身に付けるスキル

どんな力が子どもたちに身に付いたのか？

(効果の測定・検証)

課題解決プログラムの特徴

＜課題解決の3段論法＞

Step1:それが課題であることを**発見**する

Step2:その課題がどんな原因で起こっているのかを**分析**する

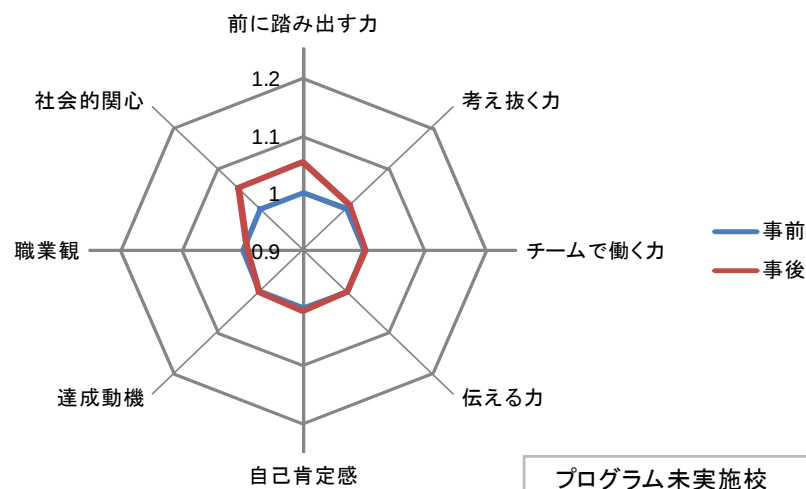
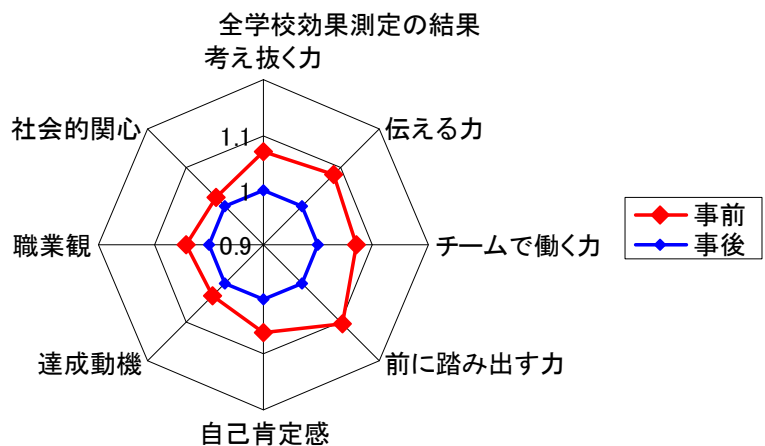
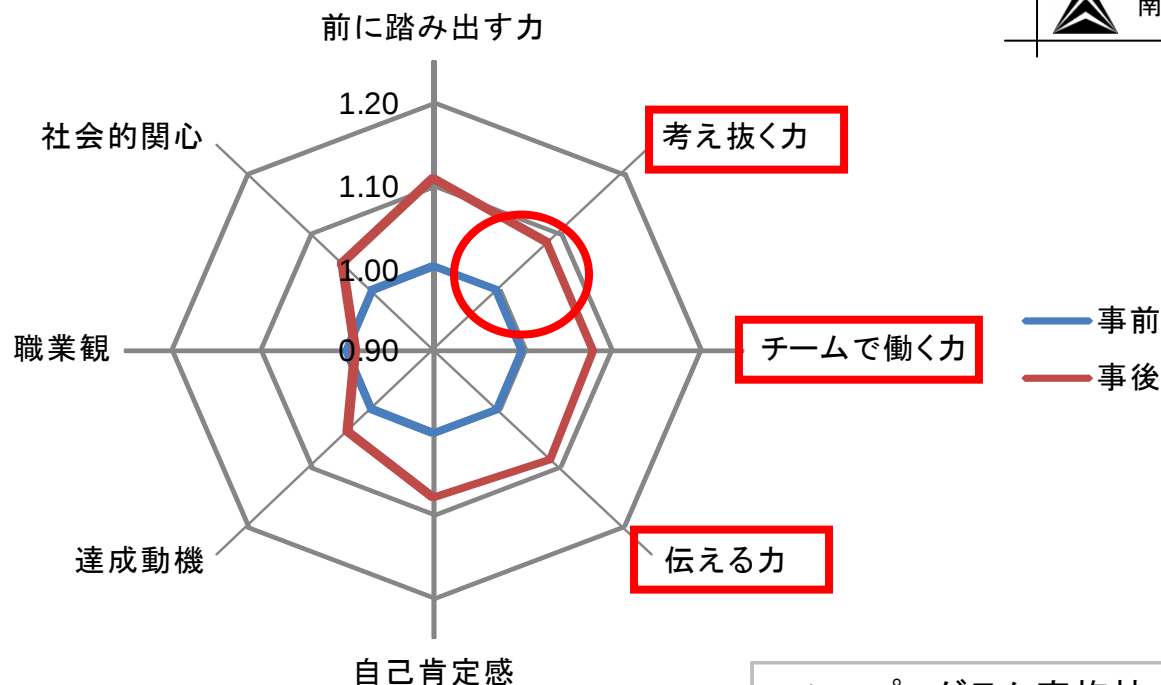
Step3:その原因を取りのぞく**方策**を考える

＜課題であることを発見するための手法として＞

- ①課題を徹底分析する
- ②比較できる事例がある場合、事例を比較する
- ③徹底分析したものの中から**法則**を見つける

＜課題解決するために＞

- ①**誰のために**解決するのかを明確にする
- ②課題を**解決**するための**論拠**を示す
- ③解決のための**工夫の論拠**を示す



プログラムを“見る”ポイント

①目的

夢・目標を見付けるプロセスにより、自己を分析し、自己実現した自らの姿を発見する。

②目的の原因や背景

夢・目標を持つ子どもの減少

③プログラムで身に付けさせるスキル等 達成動機の育成

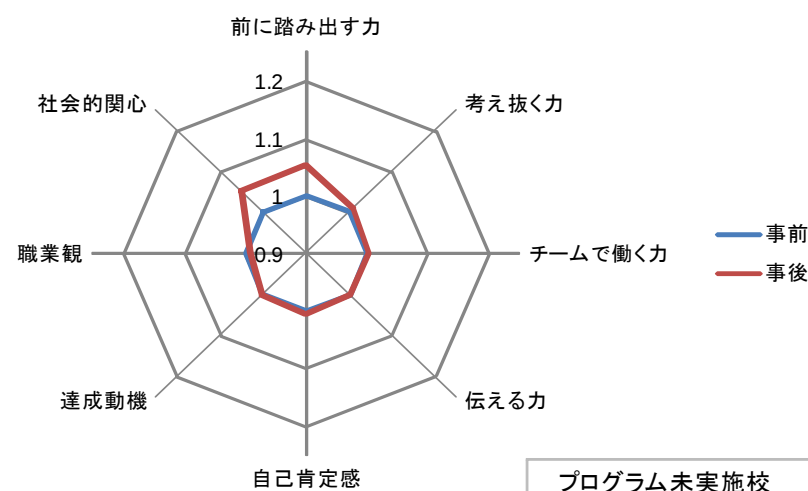
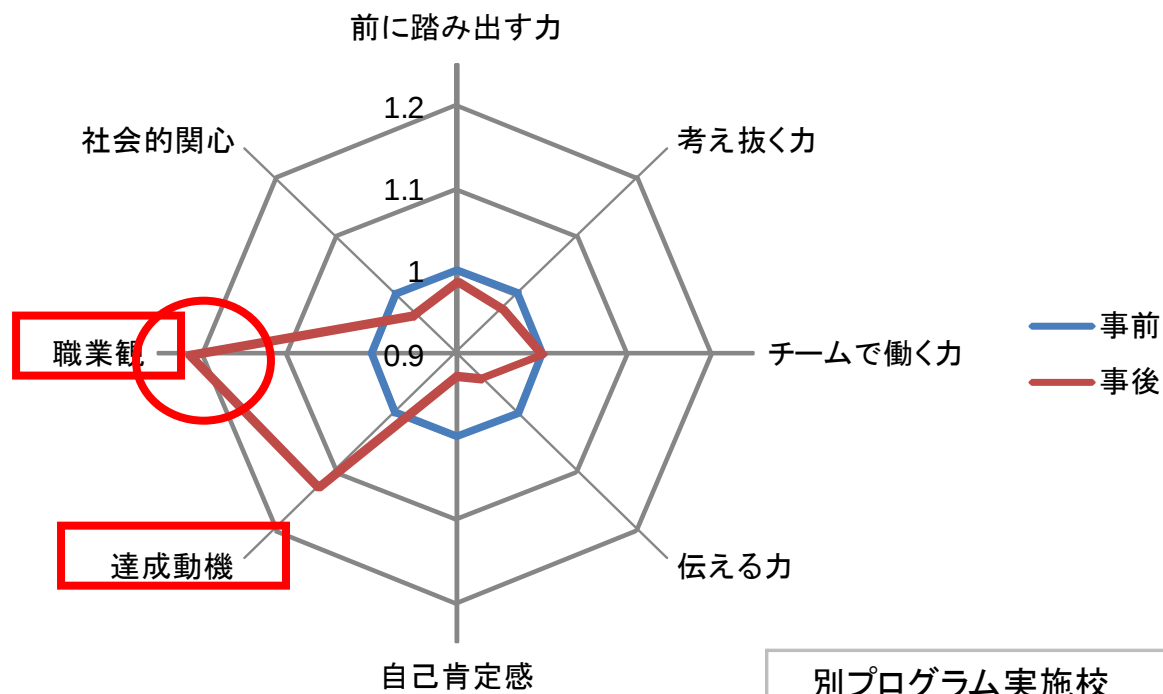
自己分析・自己実現型の特徴

①夢や目標を持つことの意義の実感：

- I 簡単な目標をグループで作成・共有し、実践。
(達成できる目標を作ること)
- II 目標の達成をお互いにフィードバック・評価

①10年後の自分発見！：

- I 10年後の自分を考えてみる。目標を設定する。
- II 目標達成のために必要な事項を書き出す。
- III 目標達成のためのプロセスを埋める。



多様なキャリアプログラム

課題解決型

企画提案

思考力、分析力、コミュニケーション力

インタビュー型

働くことの大切さ、視点、コミュニケーション力、マナー

体験学習型

キッズマート

販売体験、マナー、実体験、シミュレーション

PR型

新聞、広告、CM

分析力、良さを活かす、ターゲット、目的を明確、表現力

自己分析・自己実現型

夢、将来展望、職業観、自己の気づき

教科型

教科知識活用、視点の明確化、思考力、分析力、論拠

職場体験

働くことの大切さ、職業観、視点、マナー、実体験

外部講師型

本物、職業観、社会を知る

プログラムを“見る”ポイント

①目的

**職場体験を通じて職業観・勤労観の育成
考え抜く力・伝える力等の実践力の育成**

②目的の原因や背景

**夢や目標を持っている生徒が少ない
他者に対して伝える力が弱い**

③プログラムで身に付けさせるスキル等

職業観・勤労観・伝える力・考え抜く力

職場体験学習の事前事後学習

- 体験する職場について徹底分析する
- 何を学んでくるかを明確にして、体験学習に臨む
 - ①一番大切にしていることは何か？
 - ②その理由は？
 - ③そのために何か工夫や努力をしているか？
 - ④今までで一番困ったことは何か？
 - ⑤どのように解決したか？
- 体験中に学んできたことで、企業PRのパワーポイントをつくる
- 受入れ先の方の前で企業PRプレゼンテーションを行う

キャリア教育プログラム

<テーマ>

「考える筋道を立てる力」を育成するための、キャリア教育プログラム



教科教育のテーマ

<目的>

企画書作成を通した、子どもたちが将来社会に出ても役に立つ、実践力の育成

<身に付けさせたい力>

- ・課題発見力
- ・課題解決力 等の実践力

教科書を見てみよう！

①単元テーマがキャリア教育のテーマになっている教科

国語

社会

家庭

健康

②論理的思考力を活かすとよい教科

理科

算数・数学

③単元テーマを論拠や表現に活用するとよい教科

算数・数学

理科

①単元テーマがキャリア教育のテーマになっている教科＜国語＞

役割に応じた話し方をくふうして～
ニュース番組をつろう(6年上)

ニュースのテーマを徹底分析：

「今日からスーパーでレジ袋が有料になります」、
テーマ「レジ袋」の徹底分析

ニュース企画をつくる：

「レジ袋を有料にする」という企画書をつくる

知りたい部分についてインタビュー：

5ねらい、8成果についてインタビュー

ニュースをパワーポイントで作成
プレゼンシートで話し方をくふう

キャリア教育プログラムを考えよう！

(4) プログラム作成のポイント

ポイント

①目的：

どんな子どもに
なってほしい？

②真の課題：

なぜその目的が
必要？

③スキル：

つけたいスキル
は何？

キャリア教育に必要なプログラム

考える力を
使いきるプログラム

協働が絶対に
必要なプログラム

社会とのつながりを
感じるプログラム

通常の教科教育に
つながるプログラム

企業や社会の
生の課題
を扱うプログラム

企業や社会の
ホンモノを持ち込め！
ホンキを持ち込め！
ハードルを持ち込め！

**単なる見学や体験では
キャリア教育にはならない！**